

平成 28 年度環境リーダー養成講座実施状況

1 日程

平成 28 年 7 月 30 日（土）、8 月 6 日（土） 2 日間

2 会場

1 日目：新潟県立生涯学習推進センター／2 日目：新潟市万代市民会館

3 受講者等

対象者：個人、NPO、企業などで環境保全活動などに取り組んでいる、また、これから取り組もうと考えている者、学校において環境教育に携わっている者
 修了者：27 名（受講者 30 名）

4 講座概要





テーマ：地球温暖化、自然環境保全、資源循環型社会

	内 容	講 師
第 1 日目 7/30(土)	○開講式、オリエンテーション ①地球温暖化のメカニズムと影響 ②資源循環型の社会づくり ③小中学校における環境教育 ④環境リーダー養成講座修了者による取組事例の発表 ⑤グループワーク I	新潟大学 中田教授 新潟県廃棄物対策課 陶山副参事 新潟県教育委員会 泉指導主事 佐渡市立行谷小学校 庄山校長 大瀬建設株式会社 松井氏 新潟県環境カウンセラー協会
第 2 日目 8/6(土)	⑥環境をめぐる昨今の情勢、新潟県における地球温暖化 ⑦県内企業の代表的な取組の発表 ⑧自然環境の保全 ⑨グループワーク II ○閉講式	新潟県地球温暖化防止活動推進センター 大川センター長 北越紀州製紙株式会社洋紙事業本部 新潟工場環境管理室 佐藤室長 上越教育大学 五百川教授 新潟県環境カウンセラー協会

5 講座の様子

＜第 1 日目＞

日 程	写 真	概 要
①地球温暖化のメカニズムと影響 新潟大学 中田教授		地球温暖化のメカニズムや世界、日本、新潟県レベルにおける生態系への影響について、特に、苗場山の森林や新潟市の海岸林への影響など身近な事例を取り上げ講義いただいた。

日 程	写 真	概 要
<p>②資源循環型の社会づくり</p> <p>新潟県廃棄物対策課 陶山副参事</p>		<p>平成 28 年 3 月に策定した循環型社会形成推進基本法、第 2 次新潟県資源循環型社会推進計画及び「残さず食べよう！にいがた県民運動」について講義いただいた。</p>
<p>③小中学校における環境教育</p> <p>新潟県教育委員会 泉指導主事 佐渡市立行谷小学校 庄山校長</p>		<p>学校教育における環境教育の位置付けや、県内小中学校における環境教育の推進について説明いただくとともに、佐渡市立行谷小学校におけるトキを中心とした環境教育の取組について講義いただいた。</p>
<p>④環境リーダー養成講座修了者による取組事例の発表</p> <p>大瀬建設株式会社 松井氏</p>		<p>過去に当講座を修了した方から、講座で得た知識等の活用方法や現在のご自身の活動状況について、具体的事例を交えながらお話しいただいた。</p>
<p>⑤グループワーク I</p> <p>新潟県環境 カウンセラー協会</p>		<p>4 R、生物多様性、省エネ・新エネのグループに分かれ、環境学習・活動プログラムの作成に取り組んだ。</p> <p>1 日目は、各自のこれまでの取組事例の発表と、テーマ設定を行った。</p>

< 第2日目 >

日 程	写 真	概 要
<p>⑥環境をめぐる昨今の情勢、新潟県における地球温暖化</p> <p>新潟県地球温暖化防止活動推進センター 大川センター長</p>		<p>地球温暖化に関する最近の科学的な評価と国際的な取組の状況及び新潟県における温暖化の状況等を中心に講義いただいた。</p>
<p>⑦県内企業の代表的な取組の発表</p> <p>北越紀州製紙株式会社 洋紙事業本部新潟工場 環境管理室 佐藤室長</p>		<p>CO2 発生の少ないエネルギーである黒液バイオマスの有効利用や天然ガスの利用、環境負荷の少ない無塩素漂白パルプ等、環境への取組について講義いただいた。</p>
<p>⑧自然環境の保全</p> <p>上越教育大学 五百川教授</p>		<p>自然環境の保全を考えるために必要な生態系の構造、自然の恩恵である生態系サービスを支える「生物多様性」の価値・重要性に関する基本的な事項について講義いただいた。</p>
<p>⑨グループワークⅡ</p> <p>新潟県環境 カウンセラー協会</p>		<p>各班で、1日目のグループワークで設定したテーマに基づいた、環境学習・活動プログラムを作成し、発表を行い、質疑・応答の後、講師から講評をいただいた。</p>